

人 づ く り

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が發揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H25年度)	目標値(R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 人権啓発の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民一人ひとりが人権尊重の意識を高め、生き生きと暮らせる社会の実現	現状	多様な人権侵害が発生している	
			課題	仮説に基づく戦略
市民の人権に対する理解が不十分	啓発等の実施		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	終期目標値 (年度) 達成率			単位
			R2	R3	R4	
(7) 「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合(市民満足度調査)	73.3 (R1)		75.6	77.9	80.2	85.0 (R6)
(イ)	()	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率				()
(ウ)	()					()

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)	
		一般財源		一般財源			
		6,144	5,119				
R2 年度		8,881					
		7,019					

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

決算時記載

9 総合評価

◎評價		◎理由
總合評價	評價	理由
	★★★★★	<理由>

10 今後の課題及び取組方針

題目

題目

題目

題目

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	人権啓発の推進

事業の概要

1 啓発等の実施 (6,144 千円(前年度 8,881 千円))

(1)人権啓発の推進 (6,144 千円(前年度 8,881 千円))

① 人権啓発の推進

ア 啓発活動の実施 (2,891 千円(前年度 2,877 千円))

人権フェスティバルひがしひろしまの開催 12 月

人権教育・人権啓発指導者研修会の開催 10 月 (新たにオンライン配信)

イ 人権擁護事業への補助 (748 千円(前年度 748 千円))

東広島竹原人権擁護委員協議会が実施する事業への補助

【新】 ウ 人権教育及び人権啓発推進基本計画の改訂 (1,200 千円(前年度 0 千円))

部落差別解消推進法の施行や市民意識調査を踏まえた基本計画の改訂

【新】 エ インターネット差別書き込みモニタリングの実施 (0 千円(前年度 0 千円))

インターネット上の差別助長行為の解消に向けた掲示板のモニタリング(監視)

及び部落差別書き込みの削除依頼の実施

事業の概要

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が發揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H25年度)	目標値(R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 男女共同参画の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	性別にかかわりなく個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	現状	固定的な性別役割分担意識が根付いている	
			課題	仮説に基づく戦略
市民の男女共同参画に対する理解が不十分	啓発等の実施		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	終期目標値 (年度) 達成率			単位
			R2	R3	R4	
(7) 「地域社会において男女の地位は平等だ」と考える市民の割合(市民満足度調査)	42.9 (R1)		44.0	45.5	47.0	50.0 (R6)
(イ)	()	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率				()
(ウ)	()					()

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)	
		一般財源		一般財源			
		3,829					
R2 年度		3,828					
		3,661					
		3,658					

6 戦略を構成する事務事業

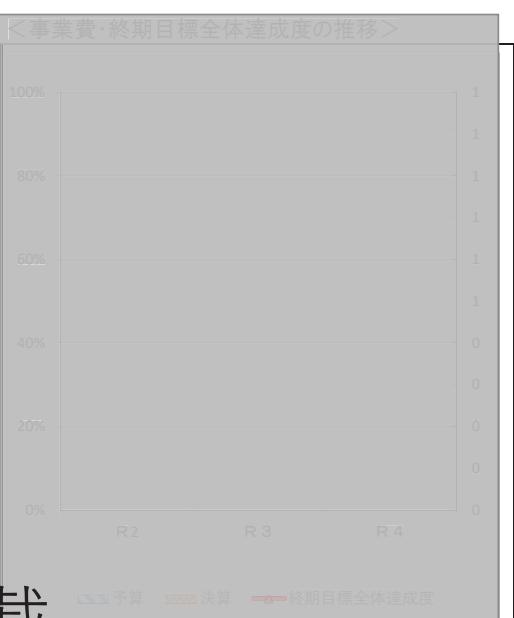
(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	



決算時記載

9 総合評価

理由	
総合評価	<理由>

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	→ □
○	→ □
○	→ □
○	→ □

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	男女共同参画の推進

事業の概要

1 啓発等の実施 (3,829 千円(前年度 3,661 千円))

(1)男女共同参画の推進 (3,829 千円(前年度 3,661 千円))

① 男女共同参画の推進

ア エスピワールの運営(3,254 千円(前年度 3,041 千円))

男女共同参画に係る各種情報の収集、提供や電話相談での対応、講座開催

(ア)情報収集・提供

a 男女共同参画に関わる図書等の収集、閲覧、貸出及び紹介

b メールマガジンの配信 毎月 1 回(年間 12 回)

(イ)活動支援

a 女性団体への活動スペース等の提供

【拡】 (ウ)講座

a おしゃべりカフェ連続講座の開催 5 回

b おしゃべりカフェ特別講座の開催(男女共同参画に係る映画上映) 1 回

(エ)相談機能

a 女性の電話相談の開設 每月 1 回(年間 12 回)

イ 啓発活動の開催(575 千円(前年度 620 千円))

(ア)キャリアデザイン講座

目的: 将来の進路選択時期を迎えている者へのライフプランについて考えるきっかけづくり

対象: 市内高校 2 校

(イ)男女共同参画の人形劇

目的: 固定的な性別役割分担意識への気づきを与えることによる、男女共同参画の意識の醸成

対象: 幼稚園、保育所の児童とその保護者 4 園

事業の概要

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が發揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H25年度)	目標値(R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 平和を希求する人材の育成	主管部局・所属	総務部	総務課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	戦争の愚かさと原爆の悲惨さを理解し、平和への願いを語れる人材の輩出	現状	啓発や教育機会の不足により、平和を志向する人材が育成できていない。	
			寄与度	戦略No.
戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを知る機会が減少している		平和に関する啓発の場の確保	高	1
		平和に関する資料（情報）の確保	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位	
		R2	R3	R4			
(7) 市内小中学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	14.5 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	30	50	70	100 (R6)	%
(1) 市内高等学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	0 (R1)		10	40	60	100 (R6)	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)	
		一般財源		一般財源			
		2,860					
R2 年度		2,860					
		2,206					
		2,206					

6 戦略を構成する事務事業

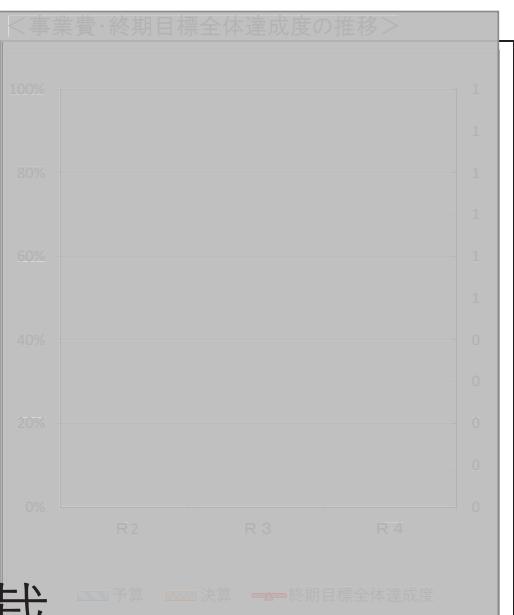
(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
属性性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	



決算時記載

9 総合評価

總合評價		◎理由◎
◎A◎B◎C	◎D◎E◎F	◎G◎H◎I

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	→ □
○	→ □
○	→ □
○	→ □

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	平和を希求する人材の育成

事業の概要

1 平和に関する啓発の場の確保 (1,047 千円(前年度 1,665 千円))

(1) 平和に関する事業の推進 (1,047 千円(前年度 1,665 千円))

戦後 75 年を迎えるにあたり、戦争・被爆体験者から直接、戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを聞くことのできる機会が減少しているため、話を「聴く場」及び資料を「見る場」を確保し、平和事業を推進する。

①市民の記憶の継承 (200 千円(前年度 602 千円))

平和祈念式典のほか、市民の平和及び核兵器廃絶に対する意識の高揚を図る。

ア 戦没者追悼式並びに平和祈念式典の開催

時期：8 月頃

会場：黒瀬生涯学習センター（健康福祉部共催）



戦没者追悼式並びに平和祈念式典

(追悼の辞)

(子ども平和メッセージ)

イ 被爆ピアノの演奏 (うち 200 千円)

戦没者追悼式並びに平和祈念式典において被爆ピアノを演奏する。



戦没者追悼式並びに平和祈念式典

(被爆ピアノの演奏と児童合唱団)

② 学習の場の提供 (296 千円(前年度 555 千円))

小中学生をはじめ、市民が平和や非核兵器について学ぶ場を提供する。

ア 巡回原爆展の実施 (うち 146 千円)

市内小中学校、高等学校、地域センター等で開催。さらに開催機会の増加を図る。

R1 実績 4 回開催 (小学校 2、中学校 1、地域センター 1)

R2 実績 3 回開催 (高等学校 3)

事業の概要

イ 被爆体験証言者の派遣（うち 149 千円）

市内小中学校、高等学校、大学及び住民自治協議会等への被爆体験証言者の派遣

R1 実績 派遣回数 6 回、受講者 1,529 人

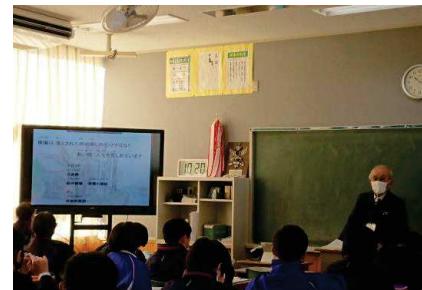
R2 実績 派遣回数 1 回、受講者 162 人



巡回原爆展(小学校)



巡回原爆展(高等学校)



被爆体験証言者派遣

③平和に関する広報（551 千円(前年度 508 千円)）

「平和・非核兵器都市東広島市宣言」等の周知をはじめ、「原爆の日」・「終戦記念日」における黙とうを呼びかける。

ア 都市宣言デジタル表示盤の活用

平和へのメッセージ等の表示（市役所 2 階渡り廊下側面）

2 平和に関する資料(情報)の確保（1,813 千円(前年度 541 千円)）

(1) 平和に関する資料の保存（1,813 千円(前年度 541 千円)）

原爆被爆資料を保存するとともに、戦争の愚かさと平和の重要性を若い世代に伝承する活動を支援する。併せて、全国の自治体や平和活動団体と連携し、平和・非核兵器に関する情報を確保する。

【拡】①原爆被爆資料保存事業等の支援（1,662 千円(前年度 364 千円)）

平和学習活動、原爆被爆資料展示、被爆証言活動を支援する。

ア 平和学習活動

市立小中学生・一般参加者による平和学習バスの運行（7月）

R1 実績 参加者 127 人

R2 実績 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止

イ 原爆被爆資料展示

原爆被爆資料を整理し、サンスクエア東広島 2 階の展示室をリニューアルする。

ウ 被爆体験伝承講話

被爆者が自らの体験を次代へ語り継ぎ、戦争の愚かさと恒久平和への道を示す活動



平和学習バス



原爆被爆資料展示室



被爆体験伝承講話

②平和・非核兵器に関する情報収集の強化（151千円（前年度177千円））

平和の推進のための研修会等（全国規模）へ参加し、他の自治体や平和活動団体との連携を深め、広域的かつ多角的な平和・非核兵器に関する情報を収集する。

ア 平和団体との連携（うち102千円）

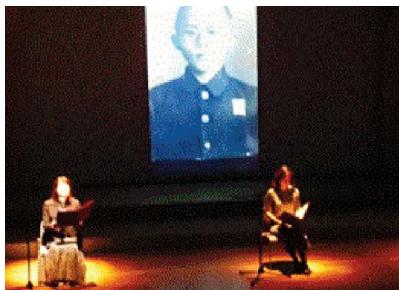
日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議への加盟

団体名	加盟自治体数	会長都市
日本非核宣言自治体協議会	342	長崎市
平和首長会議	1,734(国内) 8,013(全世界)	広島市

イ 平和に関する国内加盟都市会議（うち49千円）

平和の推進のための研修会等（全国規模）への参加

- ・日本非核宣言自治体協議会（研修会）
 - R2 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止
 - R3 長崎市（R3.6 予定）
- ・平和首長会議（国内加盟都市会議総会）
 - R2 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止
 - R3 広島市（R3.8 予定）



R1 平和首長会議（国内加盟都市会議総会）



R1 日本非核宣言自治体協議会（研修会）

事業の概要

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	2 乳幼児期における教育・保育の充実
施策の将来の目標像	子どもたちの健やかな成長のため、子育て家庭に必要な養育力が備わり、質の高い教育・保育環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	子どもの育ちを実感できる人の割合	-	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 幼児教育・保育の充実	主管部局・所属	こども未来部	保育課
関係部局・所属	学校教育部 指導課			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	現状	受け皿確保に優先的に取り組んでいる	
		仮説に基づく戦略	寄与度
質の高い教育・保育環境が整っている			
教育・保育人材の資質の更なる向上と、保育環境の充実が必要である	乳幼児教育・保育の質の向上（施設における育成支援）	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位	
		R2	R3	R4			
(7) 幼稚園に通わせている保護者の、教育又は保育への肯定的 回答(楽しんで通っている)の割合	95 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	98	98	98	98 (R6)	%
(1) 保育所に通わせている保護者の、教育又は保育への肯定的 回答(楽しんで通っている)の割合	0 (H30)		98	98	98	98 (R6)	
(ウ)	()					()	

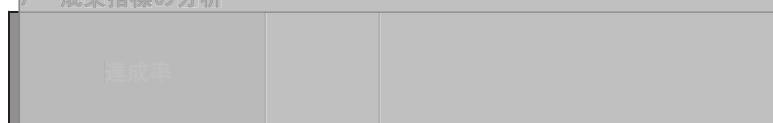
5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額 一般財源	人件費(千円)
		一般財源			
		13,484			
		10,292			
	R2 年度	8,865			
		6,144			

6 戦略を構成する事務事業

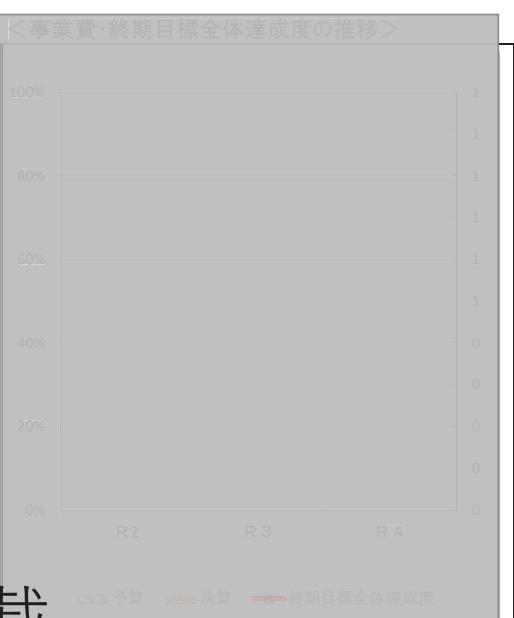
(単位:千円)

7 成果指標の分析



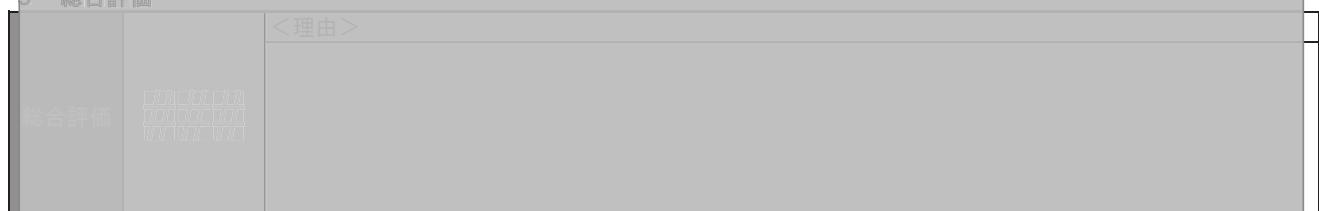
8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	



決算時記載

9 総合評価



10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	→ *
○	→ *
○	→ *
○	→ *

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	乳幼児期における教育・保育の充実	幼児教育・保育の充実

事業の概要

1 乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)(13,484 千円(前年度 8,865 千円))

(1)保育の魅力向上の推進 (13,273 千円(前年度 8,479 千円))

①保育士等を対象とした研修の充実 (うち 8,273 千円)

【拡】ア 子育てサポート研修

保育の実践に繋げるための研修内容の充実

(研修コース)

乳児保育、幼児教育、障害児保育、食育・アレルギー、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援

【拡】イ キャリアアップ研修

保育士の処遇改善につながるキャリアアップ研修の参加促進

(研修コース)

乳児保育、マネジメント

ウ 東広島市保育コーディネーター養成講座

施設運営の中核を担う保育コーディネーターの育成

(内容) 保育コーディネーターの役割、ソーシャルワーク、関係機関との連携

【新】エ 施設長のマネジメント力の強化

施設全体をマネジメントする立場にある施設長を対象とした研修の実施

【新】オ 外部講師を活用した園内研修の充実

県の幼児教育アドバイザーや大学講師等の外部講師を活用した園内研修の充実

カ 保育支援アドバイザーによる支援

保育支援アドバイザーの巡回相談による若手保育士や保育事業者の支援

【新】②保育環境の充実 (うち 5,000 千円)

ア 子どもの5つの力を育む保育施設の魅力ある環境づくり

保育室や園庭などの改善による子どもの豊かな体験を生む環境づくりの支援



事業の概要

(2)幼稚園、保育所、小学校の連携・接続の推進（211千円(前年度386千円)）

①保育の魅力向上の推進（うち107千円）、幼保小連携の推進（うち104千円）

ア 連携研修会及び公開保育の開催

幼児教育・保育、小学校教育の担い手が相互理解を深めるための研修や公開保育の実施

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H29年度)	目標値(R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率 40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率 40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 学校運営の支援と教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部	指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	本市の高い教育水準が維持されるとともに、学校業務の抱え込みを解消することが出来る	現状	学校長のマネジメントに支援を要する状況及び伝統による高い教育水準が困難な状況が見られる	
			仮説に基づく戦略	寄与度 戦略No.
学校運営・教育内容両面においてデジタル化が不十分	学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開	高	1	
新しい教育課題に対応するためには、教員の力量形成が不可欠	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	中	2	
安全且つ魅力的な施設の観点において計画的施設整備が不可欠	未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修	低	3	
多様化する教育課題の対応に加え、特色ある教育活動を行うための学校運営を支援する仕組が不十分	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	低	4	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位	
		R2	R3	R4			
(7) 「全国学力・学習状況調査」において、正答率40%未満の児童の割合	9 (R1) マイナス指標設定	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	8.7	8.5	8.3	8.0 (R5)	%
(1) 「全国学力・学習状況調査」において、正答率40%未満の生徒の割合	17 (R1) マイナス指標設定		16.5	16.0	15.5	15.0 (R5)	%
(ウ) 研修したことが児童生徒の指導に活かされていると回答する教職員の割合	85 (R1)		85.5	86.0	86.5	87.0 (R5)	%

5 コスト情報

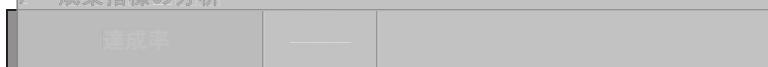
目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額 一般財源	人件費(千円)		
		一般財源					
		3,639,971	1,403,837				
R2 年度		4,476,134					
		597,735					

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10.2及び3.1_小・中学校情報機器管理事業	教育総務課	3.0	427,467	384,307
1-2	10.1.3_未来の学び推進事業	指導課	1.0	0	19,260
2-1	10.1.3_学校教育推進事業	指導課	2.1	142,139	69,818
2-2	10.1.3_外国語教育推進事業	指導課	0.8	105,255	107,647
2-3	10.1.3_学校図書館運営事業	指導課	0.5	29,790	30,020
2-4	10.2及び3.2_小・中学校図書整備事業	指導課	0.4	14,813	14,813
3-1	10.2及び3.3_小・中学校施設整備事業	教育総務課	3.4	3,414,839	2,549,781
4-1	10.1.3_スクールサポートセンター運営事業	指導課	1.0	4,731	17,198
4-2	10.1.3_学校の元気応援事業	指導課	0.8	40,331	42,455
4-3	10.1.3_部活動等支援事業	指導課	0.5	27,871	28,556
4-4	10.1.3_学校運営協議会推進事業	指導課	1.5	17,333	24,864
4-5	10.1.3_小中一貫教育推進事業	指導課	1.5	508	3,989
4-6	10.1.3_教育交流事業	教育総務課	0.5	3,022	2,981
4-7	10.2及び3.1_小・中学校運営事業	学事課	2.2	53,493	61,402
4-8	10.2及び3.1_小・中学校通学支援事業	学事課	0.8	95,056	174,701
4-9	10.2及び3.2_小・中学校理科教育振興事業	教育総務課	0.3	3,303	3,304
4-10	10.1.3_学校保健事業	学事課	2.3	96,132	103,524
4-11	10.6.3_学校給食センター食育推進事業	学校給食センター	0.3	51	1,351
			22.9	4,476,134	3,639,971

7 成果指標の分析



事業費・終期目標全体達成度の推移

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
設 置 場 所	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
投 入 資 源	投入資源量・実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手法であったのか。	
外 的 要 因	外的な要因による影響はあったのか。	

綜合評價

決算時記載

10 今後の課題及び取組方針

課題

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	学校運営の支援と教育内容の充実

事業の概要

1 学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開 (403,567千円(前年度427,467千円))

(1) 小・中学校情報機器の管理 (384,307千円(前年度427,467千円))

【拡】① 校務・学習用タブレットの整備及び管理 (うち 207,392 千円)

② 大型提示装置(電子黒板)の整備及び管理 (うち 25,625 千円)

【拡】③ 無線LAN・校内ネットワーク機器の整備及び管理 (うち 21,654 千円)

④ 統合サーバ・校務支援システムの運用及び管理 (うち 77,355 千円)

⑤ 家庭学習支援(通信回線・デジタルドリル)の整備及び管理 (うち 16,281 千円)

子どもの学びの延長及びコロナ禍対策として緊急性を持って対策が必要なため。

⑥ ICT支援員業務(研修・巡回・ヘルプデスク)の委託 (うち 36,000 千円)

急激なデジタル化へ学校が対応するためには、適切な支援を要するため。

【委託内容】研修、機器トラブル、オンライン学習等への対応

【委託料内訳】単価 6,000 千円/人・年×6 人

[新](2) 未来の学びの推進 (19,260千円)

① 電子百科事典の導入 (うち 8,732 千円)

児童生徒の調べ学習のデジタル化を推進するとともに、適切な資料を活用した主体的な学びを促す。

【導入内容】デジタル教材 百科事典・学習コンテンツ

【導入対象】市内全小中学校 49 校(小学校 34 校 中学校 15 校)

② 児童生徒の英語力向上支援ツールの充実 (うち 9,328 千円)

新学習指導要領に基づき、児童生徒の英語学習を充実させ、英語力向上を図る。

【導入内容】「Speaking Quest」(スピーキング・クエスト)

【導入対象】市内小学校第 5・6 学年全児童

【導入内容】「基礎英語 LEAD for student」

【導入対象】市内全中学校生徒

③ 各種教材のデジタル化に係る大学の活用 (うち 1,200 千円)

大学の知見を活用して教材のデジタル化を進め、より効果的な教材活用を進める。

【内容】広島大学生の協力による、東広島の地歴に係る小・中学生用解説動画作成



ICTを活用した授業の様子

2 新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追及 (222,298千円(前年度291,997千円))

(1) 学校教育の推進 (69,818千円(前年度142,139千円))

① 市教育推進指定校による研究会

【指定校数】〈市指定校数〉6 校 ※うち 2 校は県教育研究大会を兼ねる。

事業の概要

② 市教育委員会主催研修

【実施内容】全教職員研修等

③ 標準学力検査(NRT)の実施

【実施校数】

全小学校第2学年～第4学年(国語、算数)及び第5学年(国語、算数、理科)

全中学校第1学年～第2学年(国語、数学、理科)

④ 体力向上応援プロジェクトの推進

【実施内容】4講座、アプリ使用による体つくり

⑤ 教師用教科書及び指導書購入

【配付内容】検定本、一般図書及び著作本、中学校デジタル教科書

⑥ 社会科副読本整備

【整備内容】社会科副読本・白地図帳配付(各2,100冊)

(2) 外国語教育の推進(107,647千円(前年度105,255千円))

① 外国語指導助手(ALT)派遣

【派遣体制】外国青年招致事業(JETプログラム)参加者19名、コーディネーター1名

② 外国語指導力向上研修実施

【実施内容】小・中学校英語教育指導者研修(3回)

③ 英検IBAの実施

【実施対象】全中学校(第2・3学年)

④ 丸ごと1日英語体験～ENGLISH Challenge Day～

【対象】中学生

【場所】ひろしま国際プラザ



丸ごと1日英語体験～ENGLISH Challenge Day～の様子

(3) 子どもの読書活動の推進(30,020千円(前年度29,790千円))

① 学校司書の配置(うち26,124千円)

小学校における図書館業務を計画的に充実させるため。

【配置人数】小学校11名、中学校14名

【学校司書1人あたりの担当校数】

令和3年度 1.96校

② 学校図書館システムの活用



(4) 小中学校の図書整備(14,813千円(前年度14,813千円))

① 図書の購入

【購入数】

〈小学校〉4,445冊

〈中学校〉2,631冊



学校図書館での読書の様子

事業の概要

③ 未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修（2,549,781千円(前年度3,414,839千円)）

(1) 小・中学校の施設整備等（2,549,781千円(前年度3,414,839千円)）

【新】① 長寿命化計画に基づく大規模改修等に向けた設計（西条中、東西条小）（うち 49,190 千円）

本年度策定中の長寿命化計画に基づき、計画的に大規模改修を進める。

【計画概要】

- 令和 2 年度策定予定の長寿命化計画に基づき、優先度の高い学校から設計業務に着手（棟別総合劣化度上位校：西条中、東西条小）
- 教室不足が課題の学校は、増築も併せて検討（東西条小）

② 八本松小学校グラウンド整備（うち 162,200 千円）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要
造成設計								
用地取得								
工事								
トイレ建築								事業面積: 17,396 m ² 概算総事業費: 約 10.6 億円 R3 事業内容: 造成工事 トイレ建築設計

③ 川上小学校グラウンド造成（うち 115,000 千円）

	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要
造成設計						
用地取得						事業面積: 12,454 m ² 概算総事業費: 約 8 億円 R3 事業内容: 造成工事
工事						

④ 河内小中学校一体型施設整備(施設改修工事含む)（うち 425,791 千円）

	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要
基本設計						
建築実施設計						
造成測量設計						
用地取得						
造成工事						事業面積: 20,800 m ² 概算総事業費: 約 10 億円 R3 事業内容: 校舎増築等工事
建築工事等						
進入路拡幅工事						

⑤ 志和小中学校一体型施設整備(大規模改造工事含む)（うち 1,370,116 千円）

	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要
基本設計						
建築実施設計						
造成測量設計						
用地取得						
造成工事						事業面積: 32,346 m ² 概算総事業費: 約 28 億円 R3 事業内容: 校舎増築等工事
建築工事等						

事業の概要

⑥ その他

ア 豊栄小学校プール改築工事（うち 77,311 千円）

		R2	R3	R4	R5	R6	工事概要
豊栄小 プール	設計						事業面積: 450 m ² 概算総事業費: 約 2 億円 R3 事業内容: 工事 (H30 設計済)
	工事						

イ 中黒瀬小学校校舎防水改修工事（うち 118,000 千円）

		R2	R3	R4	R5	R6	工事概要
中黒瀬小 校舎改修	設計						事業面積: 4,522 m ² 概算総事業費: 約 1.2 億円 R3 事業内容: 工事
	工事						

ウ 御園宇小学校屋内運動場屋根改修工事（うち 24,000 千円）

		R2	R3	R4	R5	R6	工事概要
御園宇小 屋内運動場 屋根改修	設計						事業面積: 794.08 m ² 概算総事業費: 約 0.24 億円 R3 事業内容: 工事 (設計は自主設計)
	工事						

【新】エ バリアフリー対策としてのEV設置設計(松賀中)（うち 4,590 千円）

対象校における生徒の障害の実態に合わせた施設整備が必要なため

		R2	R3	R4	R5	R6	工事概要
松賀中 EV 設置	設計						EV1基設置 概算総事業費: 約 0.9 億円 R3 事業内容: 設計
	工事						

オ 個別改修等（うち 130,123 千円）

【改修内容】

- ・高美が丘小防水改修設計及び工事
- ・西志和小校舎及びプール解体設計
- ・旧河内西小プール解体設計
- ・八本松小プール塗装改修設計及び工事
- ・受変電設備改修設計(御園宇小、板城西小、乃美尾小)
- ・寺西小屋体屋根改修設計
- ・御園宇小公共下水道接続設計
- ・東西条小給水設備改修工事
- ・トイレ洋便器化事業 など

カ 空調 PFI 事業(保守管理) 等（うち 73,460 千円）



河内小中学校造成工事の様子



志和小中学校造成工事の様子



福富小中学校校舎工事の様子

事業の概要

4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入(464,325千円(前年度 341,831千円))

【拡】(1) 学校業務の応援〈スクールサポートセンター業務〉(17,198千円(前年度4,731千円))

コロナ禍等において多様化する学校業務への支援が必要であるため。

【サポート体制】

- ・スクールサポートコーディネーターの配置(1名)
- ・スクールソーター(R2登録者退職教員130名、学生116名、14,200時間分)
※退職教員及び学生を充てる

(2) 学校の特色ある教育活動の応援(42,455千円(前年度40,331千円))

① 学校づくりの応援

【実施内容】

- ・校内研修講師派遣(大学教授、学識経験者 61回分)
- ・和文化等講師派遣(80回分)
- ・マイタウンティーチャー派遣(1,400回分)
- ・教材等整備費



一校一和文化の発表



校内緑化活動

② 学校経営のアドバイス

【実施内容】学校経営アドバイザーの配置

【配置人数】4名(アドバイザー主任1名、アドバイザー3名)

③ 魅力ある授業の応援

【実施内容】教科等指導支援員の配置

【配置人数】7校へ7名

④ 中学校音楽会及び中学校音楽まつり開催

【実施時期及び参加対象】

- ・中学校音楽会(11月)：全中学校(14校)から1クラス及び招待演奏校(1校)
- ・中学校音楽まつり(3月)：市内中学校音楽系部活動

⑤ 陸上・水泳記録会開催

【実施時期及び参加対象】

- ・水泳記録会(8月)：標準記録を突破した市内小学校5・6年児童
- ・陸上記録会(10月)：標準記録を突破した市内小学校5・6年児童

(3) 部活動等への支援(28,556千円(前年度27,871千円))

【拡】① 大会及び団体への負担金、補助金(うち3,468千円)

中国中学校駅伝開催の補助金増

② 児童・生徒の大会への派遣費補助

③ 部活動指導員の配置(4名)(うち4,068千円)

外部指導者を積極的に活用し、部活動を支援する。

【配置計画】4名



全国大会壮行会の様子

事業の概要

【括】(4) 学校運営協議会(CS)推進(24,864千円(前年度 17,333千円))

コミュニティ・スクールの計画的導入と、機能充実

R2 : 9 校 (8 協議会) → R3 : 13 校 (11 協議会)

① 学校運営協議会委員任用(15名 × 11 協議会分) (うち 660 千円)

【導入校及び導入年度】

H30	R1	R2	R3
風早小	なし	前期:福富中・高美が丘小・中 後期:八本松小・小谷小・御園宇小・上黒瀬小・龍王小	志和中・河内中・ 福富小・寺西小

※1 高美が丘小・中、福富小・中には、1中学校区に一つの学校運営協議会設置
 ※2 志和中・河内中については、小中一貫校開校と合せ、1中学校区に一つの学校運営協議会設置

【今後の導入校と導入年度見通し】

R4	R5	R6
志和小・河内小・入野小	豊栄小・中	市内全小・中学校導入 (小34校／中学校14校)

※1 学校から学校運営協議会設置の意向があった場合には、上記計画を隨時変更

② コミュニティ・スクール推進員の配置(11名)←(前年度 8名) (うち 23,404 千円)

【コミュニティ・スクール推進員業務内容】

業務内容	R2 年度中の特徴的な実績
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール推進に係わる業務 ・地域学校協働活動の推進に係わる業務 ・地域学校協働活動推進員との連携業務 ・学校長が求める学校運営に係る業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・週2時間程度の学校・地域連絡会議実施 ・地域教材を活用した学習の連絡調整及び学習引率 ・コミュニティ・スクールの広報(広報紙発行、学校掲示) ・学習支援 ・住民自治協議会役員会の出席

③ 地域学校協働活動促進に資する原材料費活用(4校分) (うち 800 千円)

【原材料費活用例】

R2 年度中の特徴的な実績
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防に資するアクリル板区切の会議スペース作り ・一堂に会することなく会議を分散することができる通信システム構築 ・児童のリフレッシュに資する教材整備(ベンチ、遊具、ジャンプボード) ・CSの取組を地域にアピールする掲示板づくり ・地域学校協働活動資料蓄積棚の作成

※ 当該事業の原材料を使用する際は、コミュニティ・スクール推進員と地域学校協働活動推進員の協働を要件とする



コミュニティ・スクール設置により活性化する地域学校協働活動

事業の概要

【新】(5) 小中一貫教育(選ばれ満たされる教育活動)の推進(3,989千円(前年度508千円))

令和3年度に福富小中学校、令和4年度に志和小中学校・河内小中学校がそれぞれ開校し、「選ばれ満たされる」学校運営を進めていくため。

① 福富地域(うち 601 千円)

【取組概要】

- ・ 個別最適化教育研究者授業及びワールドオリエンテーション学習実施
- ・ 森林環境教育研究者授業
- ・ アントレプレナーシップ教育研究者授業

② 志和地域(うち 1,624 千円)

【取組概要】

- ・ 最先端技術研究者授業
- ・ スポーツサイエンス研究者授業
- ・ 最先端農業研究者授業
- ・ 初歩科学実験講座

③ 河内地域(うち 1,089 千円)

【取組概要】

- ・ 英語教育研究者授業
- ・ 地域創生教育研究者授業



新設小中一貫校 3 校の取組概要を記したチラシ

④ 小中学校連携事業の充実(うち 675 千円)

【連携事業概要】

- ・ 志和地域(東志和小学校、西志和小学校及び志和中学校)の一貫校化前交流(全4回分)
- ・ 河内地域(河内小学校、入野小学校及び河内中学校)の一貫校化前交流(全4回分)

(6) 教育交流の推進(2,981千円(前年度3,022千円))

① 北海道北広島市との交流活動実施

【交流時期】8月に受入と派遣予定

【受入人数】18名

【派遣人数】20名

② 中国四川省徳陽市との交流活動実施

【交流時期】7月に受入予定

【受入人数】10名



教育交流の様子(上 北広島市受入 下 徳陽市訪問)

事業の概要

(7) 小・中学校運営の支援 (61,402千円(前年度53,493千円))

① 学校運営体制の確保

【小学校への配置数】看護師 3 名、学校事務職 3 名、養護講師 2 名

【中学校への配置数】講師 8 名、学校事務職 4 名

② 関係団体への負担金及び補助金

【負担金】

広島県連合小学校長会、広島県公立学校校長会連合会、広島県公立中学校長会、

広島県公立小・中学校事務長会、広島県小学校教育研究会、広島県中学校教育研究会

【補助金】

東広島市小学校教頭会、東広島市中学校教頭会、東広島市立学校教育研究会

(8) 小・中学生への通学支援 (174,701千円(前年度95,056千円))

【拡】① 小学校の通学支援(スクールバス・スクールタクシー運行)(うち 143,585 千円)

福富小学校開校に伴う通学支援及びコロナ対策による増便

【対象小学校区】

板城小、西志和小、中黒瀬小、福富小、豊栄小、河内小、入野小、風早小

② 遠距離通学児童生徒の通学費補助

【小学校】三ツ城小、川上小、中黒瀬小

【中学校】高屋中、河内中

③ 中学校の通学支援(スクールバス運行)(うち 24,089 千円)

コロナ対策による増便

【対象中学校区】高屋中

④ 自転車通学生徒ヘルメット購入費の補助

【対象者】市内全中学校生徒(1,400 人分)

【補助率】7 割

(9) 小・中学校の理科教育備品整備(3,304千円(前年度3,303千円))

① 理科教育振興法に基づき、理科、算数、数学教育備品購入

(10) 学校保健の推進 (103,524千円(前年度96,132千円))

① 各種健康診断及び各種学校環境衛生検査の実施

【健康診断実施内容】

・ 児童生徒等の健康診断

(内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、結核検診、尿検査、心音心電図検査)

・ 就学時の健康診断

・ 教職員の健康診断、ストレスチェック

【学校環境衛生検査実施内容】

・ 空気中の化学物質濃度検査

・ プール水及び飲料水水質検査

・ 教室等の環境検査

② 各種保険等への加入及び関係団体への補助金交付、研修等参加助成

【加入保険】

・ 日本スポーツ振興センター災害共済

・ 全国市長会学校災害賠償補償保険

【負担金】

- ・ 日本スポーツ振興センター
- ・ 広島県学校保健会
- ・ 衛生推進者・管理者等養成講習会参加費

【補助金】

東広島市学校保健会

【新】(11) 学校給食センターの食育推進 (1,351千円(前年度51千円))**① 学校給食カレーの商品化**

給食センターで提供しているカレーを商品化し、家庭で家族と一緒に学校の給食を食べることで、給食や食についての関心を高めてもらい、家庭における食育の推進を図る。

【委託内容】 学校給食レトルトカレー1,800 食分開発・製造(市内の野菜(ジャガイモ)使用)

② 給食センターの施設開放イベントに係る給食食材の賄材料費

【実施時期】 10月

【対象】 市民参加希望者(600 人参加見込)



施設イベントの様子

③ 栄養士が各小中学校やイベント等で実施する食育に係る経費

【実施内容】 児童生徒を対象とした小中学校での食に関する指導 等

【実施時期】 通年



小学校での食に関する指導の様子

事業の概要

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H29年度)	目標値(R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率 40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率 40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 特別なニーズに対応した教育の充実	主管部局・所属	学校教育部	指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	障害の有無、国籍、家庭の経済事情等に関わらず、全ての子どもが、夢に向かって自己実現できる教育環境が整う。	現状	現代的課題は増加し、学びのセーフティネット構築の必要性が学校教育、社会教育両面で益々求められる。	
			寄与度	戦略No.
特別支援教育に対する専門的な知識及び教育力が不足し、切れ目ない支援体制構築が十分とは言えない	特別な支援を要する児童生徒への教育推進	高	1	
日本語指導体制の整備が十分とは言えず、子どもや保護者の困り感への対応が必要な状況である	外国につながる児童生徒への教育推進	中	2	
経済的な理由により子どもの可能性を伸ばす日常的な学びが保障されていない状況が見られる	学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化	低	3	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位	
		R2	R3	R4			
(7) 特別支援学級に在籍する児童生徒保護者の教育活動に対する肯定的回答の割合	75 (R1)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	76	77	79	80 (R5)	%
(1) 「学校は多様なニーズに対して適切に対応している」と回答した保護者の割合			75.5	76.0	76.5		
(ウ)							

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額 一般財源	人件費(千円)		
		一般財源					
		553,316					
R2 年度		546,866					
		472,680					
		463,702					

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

決算時記載

9 総合評価

◎心口合一圖	
總合評價	<理由>
11111111 11111111 11111111	

10 今後の課題及び取組方針

問題

-
-
-
-

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	特別なニーズに対応した教育の充実

事業の概要

1 特別な支援を要する児童生徒への教育推進 (350,249千円(前年度292,771千円))

(1)特別支援教育の推進 (8,048千円(前年度7,716千円))

①特別支援教育センター及び特別支援教育大学生センターの派遣

【派遣回数】

- ・ 特別支援教育センター 3,700 時間分
- ・ 特別支援教育大学生センター 600 回分

②特別支援教育担当者会及び巡回相談の実施

【担当者会実施回数】 3 回(特別支援学級担当者ほか対象)

【巡回相談員派遣回数】 20 回分 ※謝金を要する巡回相談のみの回数

③特別支援教育相談員の配置

【配置人数】 1 名

【拡】(2)小・中学校教育支援者の配置 (342,201千円(前年度285,055千円))

①教育補助員の配置

【配置人数】 87名(小学校62名、中学校25名) ※小学校4名 中学校3名増員

②学校教育支援員の配置

【配置人数】 42名(小学校30名、中学校12名) ※小学校2名増員

2 外国につながる児童生徒への教育推進 (7,110千円(前年度4,970千円))

(1)外国につながる児童生徒への教育推進 (7,110千円(前年度4,970千円))

【拡】①日本語指導教育の充実 (うち 2,987 千円)

拠点校を中心に日本語指導に係る研究を推進し、他校に成果を普及

【拠点校】 龍王小学校

【事業内容】

- ・ 広島大学との連携による協議会実施
- ・ 学校教育支援員(外国につながる児童生徒への支援対応)配置(1名)
- ・ 日本語指導ボランティアを派遣(広島大学等の学生活用)

【拡】②初期指導教室の設置 (うち 3,701 千円)

来日して間もない児童生徒に学校生活や日本語に係る指導を行うことで、学校への早期適応を図る。

【設置場所】 児童青少年センター

【事業内容】 初期指導教室指導員派遣(2名)

③通訳者・支援員の派遣

【派遣回数】 通訳者 60 回分、支援員 30 回分

④指導者研修の実施

【対象】 日本語指導学級担当者等

3 学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化(195,957千円(前年度174,939千円))

(1)小・中学校の就学支援 (195,957千円(前年度174,939千円))

①経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者への学用品費等の支給

②特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者への学用品費等の支給

事業の概要

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H29年度)	目標値(R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率 40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率 40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり	主管部局・所属	学校教育部 青少年育成課
関係部局・所属	生涯学習部 生涯学習課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域及び関係諸機関との連携体制が整い、青少年の健全な育成が図られる	現状	全国や県に比して良好な傾向ではあるが青少年問題の課題は増加し、憂慮される	
			課題	仮説に基づく戦略
個々の児童生徒の状況に対応するための校内の仕組づくりが十分とは言えない。	個に応じた生徒指導の充実	高	1	
家庭教育充実に資する保護者への啓発活動推進が十分とは言えない。	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	中	2	
子どもと地域住民とのつながりや、地域で子どもが活動できる場が求められている。	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	低	3	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位		
		R2	R3	R4				
(7) 不登校児童生徒数	222 (R1) マイナス指標設定	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	215	210	205	200 (R5)	人	
			83.5	84.0	84.5	85 (R5)		
(1) スクールソーシャルワーカーの取組での改善率	83 (R1)						% 人	
			77	78	79	80 (R5)		
(ウ) いじめ解消率	75 (R1)						人	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)	
		一般財源		一般財源			
		65,394	58,145				
R2 年度		61,967					
		55,997					

6 戦略を構成する事務事業

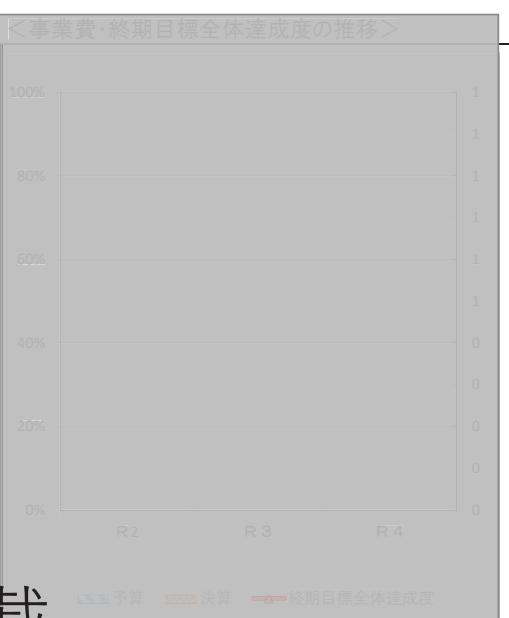
(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	



決算時記載

9

綜合評價

総合評価	★★★★★	<理由>

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	・
○	・
○	・
○	・

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	地域と連携した青少年健全育成の環境づくり

事業の概要

1 個に応じた生徒指導の充実 (44,187 千円(前年度 39,465 千円))

(1)生徒指導の推進 (44,187 千円(前年度 39,465 千円))

【拡】①個別支援の充実 (うち 21,399 千円)

ア 校内特別支援教室(スペシャルサポートルーム(SSR))の設置

SSR利用により、欠席日数を減少させ、登校状況の改善を図る。

【設置校数】 中学校 3 校、小学校 3 校

イ 担当者(心のサポーター)の配置

【配置時間】

〈SSR 設置校〉 全日 6 時間

〈SSR 未設置校〉 小学校 1 日 4 時間で隔週 1 日から毎週 1 日

中学校 1 日 4 時間で毎週 2 日から 3 日

【拡】②教育相談・家庭支援の充実 (うち 9,377 千円)

スクールソーシャルワーカー(SSW)によるアウトリーチ支援の充実等により児童生徒の登校状況を改善させる。

【SSW人数】 5 名

【SSW配置時間】

〈臨床心理士〉 1 日 (5.5 時間) ×週 2 日

〈社会福祉士等〉 1 日 (5.5 時間) ×週 6 日

③校外適応指導教室(フレンドスペース)の設置

【設置地域】 西条、黒瀬、豊栄

【指導員数】 6 名

④教職員の生徒指導力向上

【事業内容】

- ・生徒指導主事等対象の研修会実施

- ・生徒指導教育研究実践校の指定

⑤いじめ防止に向けた取組

【事業内容】

- ・いじめ防止に向けた児童会・生徒会の取組支援

- ・いじめ問題調査委員会設置及び運営

- ・相談ダイヤル設置



SSRの教室環境

事業の概要

2 安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり (10,637 千円(前年度 13,613 千円))

(1) 青少年健全育成を支える環境づくり (8,228 千円(前年度 10,917 千円))

①児童青少年センターの充実

ア 児童青少年総合相談室の設置

【カウンセラー配置】 毎週火・金曜日 13 時から 16 時

【教育相談員配置】 毎週水・木・土・日曜日 10 時 30 分から 17 時

【児童厚生員配置】 毎週火・木・日曜日 10 時 30 分から 17 時

イ 児童生徒等の異年齢集団による活動

【活動内容】

・ゆーすふる・チャレンジャー開催

・親子わくわく講座開催

②地域の安全・安心の推進

ア 青少年指導員による巡回活動

【指導員数】 8 人

【活動時間】 6 時間 × 40 週 / 人

イ スクールガードリーダー派遣

【派遣人数】 7 人

【活動時間】

〈安全対策に関する指導助言〉 12 回

〈犯罪防止教室〉 49 校 × 1 回

ウ 学校安全ボランティアによる見守り活動

【学校安全ボランティア登録数】 14,361 人

エ 青少年問題協議会の開催

(2)青少年健全育成団体の支援 (2,409 千円(前年度 2,696 千円))

青少年が豊かな創造力と自主性を持った社会の一員となるよう、青少年健全育成の活動団体へ財政支援を行う。

①青少年育成東広島市民会議

②“社会を明るくする運動”東広島推進委員会

③市女性連合会

④市PTA連合会

青少年健全育成団体の活動の様子



社会を明るくする運動



あいさつ・声かけ運動

事業の概要

3 地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実 (10,570千円(前年度 8,889千円))

(1)地域学校協働活動の推進 (10,570千円(前年度 8,889千円))

【拡】①放課後子供教室の実施 (うち 9,517千円)

地域と学校の連携・協働のもと、幅広い地域住民が参画し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域の交流を促進する。

【教室数】 22教室→25教室

【スタッフ数】 コーディネーター25人、学習アドバイザー・安全管理員170人

【活動回数】 各教室 25回／年



学習支援



屋外での体験学習

【拡】②地域学校協働活動推進員の配置 (うち 1,053千円)

地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員をコミュニティ・スクール導入校に配置し、地域学校協働活動の企画・連絡調整を行う。

【推進員数】 8人→11人

【コミュニティ・スクール導入校及び導入年度】

H30	R1	R2	R3
風早小	なし	前期:福富中・高美が丘小・中 後期:八本松小・小谷小・御園宇小・上黒瀬小・龍王小	志和中・河内中・ 福富小・寺西小

※1 高美が丘小・中、福富小・中には、1中学校区に一つの学校運営協議会設置

※2 志和中・河内中については、小中一貫校開校と合せ、1中学校区に一つの学校運営協議会設置

R4	R5	R6
志和小・河内小・入野小	豊栄小・中	市内全小・中学校導入 (小34校/中学校14校)

※1 学校から学校運営協議会設置の意向があった場合には、上記計画を隨時変更

事業の概要

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	-	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 理科系教育分野等の教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部	指導課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	世界基準で活躍できる人材育成に根差した教育が学校内外で行われ、児童生徒の理数系教育への興味関心が高まる	現状	理数系教育への関心・意欲が高いとは言えず、理科・算数・数学の高水準学力を維持することが懸念される。	
			寄与度	戦略No.
理数教育の魅力を強く感じられるような授業が十分に行っているとは言えない	子どもたちの理科系教育分野への興味・関心醸成	中	1	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位	
		R2	R3	R4			
(7) 「全国学力・学習状況調査」の理科・算数・数学において、全国平均を上回る学校の割合	(R1)	85	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	85.5	86.0	86.5	87.0 (R5)
(1) 講座参加者の学習満足度	(R1)	95		100	100	100	100.0 (R5)
(ウ) 理科アシスタント配置校における理科を好きな児童の割合	(R1)	92		93	94	95	95 (R5)

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)	
		一般財源		一般財源			
		11,204	10,841				
R2 年度		16,310					
		15,934					

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

決算時記載

9 総合評価

總合評價	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<理由>

10 今後の課題及び取組方針

1. 2. 3.

4. 5. 6.

7. 8. 9.

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	新たな価値を創造する人材の育成	理科系教育分野等の教育内容の充実

事業の概要

1 子どもたちの理数系教育分野への興味・関心醸成 (11,204 千円(前年度 16,310 千円))

(1) 児童生徒の科学の芽育成 (11,204千円(前年度16,310千円))

① 児童生徒への科学の芽育成講座 (うち 3,169 千円)

ア 科学の芽育成講座の開催

【実施時期】令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

【実施場所】市内各小中学校

【講師】 広島大学・近畿大学工学部・広島国際大学の教員・市内企業の技術者



化学分野の講座



天文学分野の講座



生物分野の講座

② めざせ！未来のノーベル賞 科学の芽成長プロジェクト (うち 6,945 千円)

ア 年間を通じた科学研究の実施(めざせ！未来のノーベル賞プロジェクトチーム(上級コース))

【対象者】市立小学校第 5 学年～中学校第 3 学年 定員 20 名

(ア) チーム研究の実施

【実施時期】8 月～3 月(連続講座 8 回)

【内 容】チーム研究の実施及び研究発表

(イ) 「1 日まるごとサイエンス」の実施

【開催時期】8 月

【内 容】科学の甲子園ジュニア参加に向けた科学工作や課題解決を行い発表

イ 科学に対する興味・関心を高める講座の実施(中級コース)

【対象者】市立小学校第 4～6 学年児童 定員 40 名×2 回(80 名程度)

(ア) おもしろ科学実験講座

【開催時期】10 月、2 月

【テ マ】科学に対する興味・関心を高める内容

(イ) チーム研究の発表大会聴講

【開催時期】3 月

【内 容】チーム研究の研究発表における聴講

ウ 親子おもしろ科学実験講座(初級コース)

【対象者】市立小学校第 1～3 学年親子 定員 30 組程度×2 回(120 名程度)

【開催時期】9 月、12 月(2 回実施)

【内 容】親子で楽しめる科学実験講座

事業の概要

エ 科学に対する興味・関心を高める講演の実施(共通)

科学の芽育成講演会(1月)

③ 理科観察実験アシスタントの配置（うち 1,090 千円）

研究者や大学院生等 8 名（令和 2 年度 7 人）を市内小学校へ派遣

【配置時期】 令和 3 年 9 月～令和 4 年 2 月

【業務内容】

- ・ 理科室及び理科準備室などの理科教育に使用する特別教室の環境整備
- ・ 理科の観察・実験活動に係る準備、調査、片付け
- ・ 観察実験アシスタントの配置調整、職務能率や安全確保等に資する情報交換、会議等の参加



実験器具の整備



掲示物による興味喚起

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	—	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属	生涯学習部 文化課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市内大学・試験研究機関等との連携により、子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実が図られている	現状	子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の提供が十分ではない			
			課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
児童が参加しやすい講座を提供する必要がある。	創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実		高	1		
大学、試験研究機関等との連携を強化する必要がある。	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実		低	2		

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	終期目標値 (年度) 達成率			単位
			R2	R3	R4	
(7) 出前美術館・博物館、芸術体験事業の満足度の割合	85 (R1)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	87	88	89	90 (R4)
(1) 市内小学生(5年生)が「理科の勉強は好き」と感じている割合	88.2 (R1)		88.5	89.0	89.5	90.0 (R6)
(ウ)	()					()

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)	
		一般財源		一般財源			
		4,241	4,241				
R2 年度		2,764					
		2,764					

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

決算時記載

9

綜合評價

總合評價		原因
好	不好	<理由>

10 今後の課題及び取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	新たな価値を創造する人材の育成	子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実

事業の概要

1 創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実 (4,105 千円(前年度 2,629 千円))

(1)文化芸術体験の振興 (4,105 千円(前年度 2,629 千円))

①出前美術館

美術館所蔵作品の図版等を活用した鑑賞教材等を用いて、子どもたちが楽しんで作品を鑑賞する機会を提供する。

【対象】 小中学生

【実施校】 3 校程度

【実施場所】 各小中学校

②出前博物館

出土文化財や民具等を学校に持参し、見て触ってその質感を体験することで歴史や文化・文化財への興味を醸成する。

【対象】 小中学生

【実施校】 6 校程度

【実施場所】 各小中学校及び歴史民俗資料館、文化財所在地

③はじめてビジュツカン

市内の小学生を美術館に招待し、美術作品に触れ、子どもたちの感性を養う機会を設ける。

【対象】 小学 4 年生

【実施校】 35 校

【実施場所】 美術館



アートカードを活用した授業



本物の土器に触れる体験



美術館での作品鑑賞体験

2 子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実 (136 千円(前年度 135 千円))

市内の大学や試験研究機関等と連携・協働し、その知見を活用して、子どもたちの豊かな学びにつながる講座を提供する。

(1)豊かな学びの創造 (136 千円(前年度 135 千円))

①ひがしひろしまスペスクラブの実施

宇宙や天体について科学的な興味や関心を高める場を提供する。

【対象】 小学生 (30 人／各回)

【回数】 8 回 (連続講座)

事業の概要

②東広島天文台観望会の開催

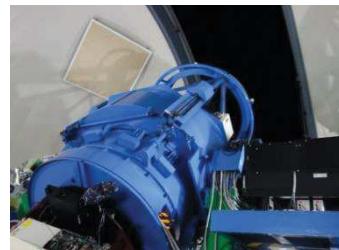
広島大学と共に、東広島天文台で特別観望会を開催する。

【対象】小学生以上（560人／年）

【回数】4回程度



ひがしひろしまスペースクラブ



東広島天文台「かなた望遠鏡」

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	5 知的資源と国際性を活かした人づくり
施策の将来の目標像	大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育っています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童の割合	73.3%	80%以上
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う生徒の割合	66.8%	70%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成	主管部局・所属	学校教育部	指導課
関係部局・所属	政策企画部 政策推進監	生涯学習部	生涯学習課	
	生涯学習部 文化課			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	現状	寄与度		戦略No.
		課題	仮説に基づく戦略	
大学・企業等との連携により市民の学びが深まるとともに、外国に繋がる人との交流が広がり国際感覚が醸成される	研究資源や高い専門性を持つ人材が「学び」に十分に活かせておらず、国際感覚の醸成も十分高まっているとは言えない。	高	1	
本市が有する教育資源の効果的な活用及び連携充実に資する関係部局の協働体制が十分とは言えない	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実	中	2	
関係機関と連携した国際交流機会を計画的かつ効率的に創出する必要がある	国際感覚の醸成	低	3	
大学や試験研究機関と連携した講座の充実を図る必要がある	大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実			

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	終期目標値 (年度) 達成率			単位
			R2	R3	R4	
(7) 各種主催講座等の受講により、生涯学習活動に取り組んでいこうと考えている人の割合	(R1)	80 上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	81	83	84	85
(1) 「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童・生徒の割合						(%)
(ウ) 埋蔵文化財及びキャンパスへ興味・関心を持ったと回答した小学生・保護者の割合			81	82	83	84
						(%)
			91	92	93	94
						(%)

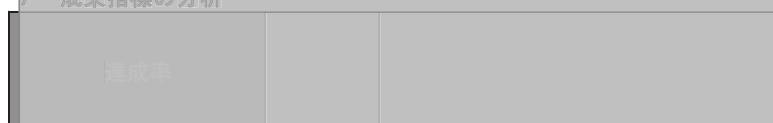
5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
		2,904				
		2,904				
	R2 年度	4,906				
		4,881				

6 戦略を構成する事務事業

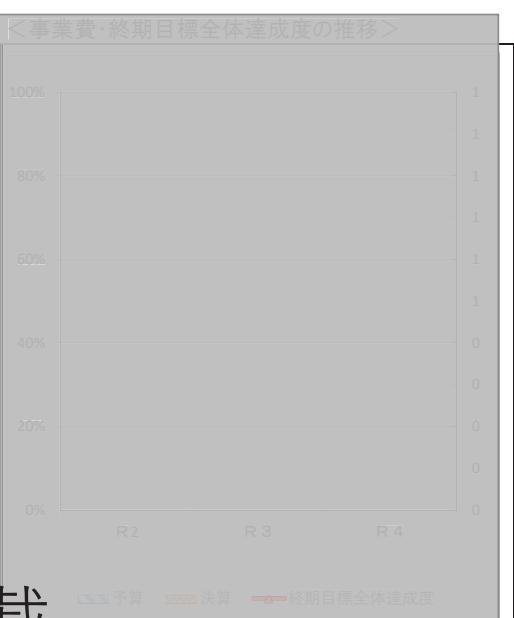
(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	



決算時記載

9 総合評価

◎ 考評面		<理由>
總合評價	及格	及格

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	→ *
○	→ *
○	→ *
○	→ *

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	知的資源と国際性を活かした人づくり	大学・企業等との連携による学びの充実 と国際感覚の醸成

事業の概要

1 大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実 (554 千円) (前年度 2,545 千円)

(1)未来創造及びキャリアの形成 (425 千円(前年度 2,440 千円))

①中学生職場体験学習

【対象】中学校 14 校の第 2 学年生徒

(2)歴史の体験 (129 千円(前年度 105 千円))

①「親と子の体験歴史村」講座の実施

勾玉作りや火おこし等、親子で古代の人々の生活体験をすることで、埋蔵文化財への興味と関心を高める。



土器づくりの様子

【対象】小学 4~6 年生とその保護者

【場所】広島大学構内、広島大学総合博物館

【回数】1 回

【人数】親子 25 組、50 人 (見込)

2 国際感覚の醸成 (1,453 千円(前年度 1,423 千円))

(1)グローバルマインドの育成 (1,418 千円(前年度 1,388 千円))

①国際交流を目的とした出前授業

【対象】小学校児童及び中学校生徒

②外国語活動充実を目的とした出前授業

【対象】小学校児童

(2)国際理解の推進 (35 千円(前年度 35 千円))

①JICA 研修事業研修員と市民等との交流の促進

②国際協力研修事業への協力による国際理解の促進

ア JICA「排水処理技術コース」への協力による国際理解の促進

イ JICA 中国が実施する各種研修コースへの協力 5 コース程度/年

3 大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実 (897 千円(前年度 938 千円))

(1)学びのキャンパスの推進 (897 千円(前年度 938 千円))

市内の大学や試験研究機関等と地域・市民の交流や連携を推進するとともに、市民の豊かな学びにつながる講座を提供する。

①「東広島学」の開催

近畿大学工学部と連携し、市内の各分野で活躍する団体等の講義等を通じて、東広島を知り、東広島に愛着を持ってもらう講座を実施する。

事業の概要

【対象】市民、学生

【場所】近畿大学工学部ほか

【回数】15回（連続講座）

②「ひと・まち発見講座」の開催

広島国際大学と連携し、市内で活動するボランティア団体等の講座を通じて、自らのボランティア活動への関心を高める講座を実施する。

【対象】市民、学生

【場所】広島国際大学ほか

【回数】8回（連続講座）

③「サマーカレッジ」の開催

広島国際大学と連携し、専門的な学術分野の講義や、学内施設の見学・体験実習などを実施する。

【対象】市民

【場所】広島国際大学

【回数】2回（連続講座）

④「広大マスターズ市民講座」の開催

広島大学マスターズと連携し、その知的資源を活用して市民の高度で多様なニーズに応える生涯学習の機会を提供する。

【対象】市民

【場所】東広島芸術文化ホールくららほか

【回数】20回（5講座 各講座4回連続）

⑤「生涯学習サテライトキャンパス講座」の開催

市内大学の教授等が講師となり、専門的な内容を学ぶことができる講座を各地域で開催する。

【対象】市民

【場所】生涯学習センター、地域センター等

【回数】18回



東広島学



ひと・まち発見講座



広大マスターズ市民講座

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備	主管部局・所属	生涯学習部	生涯学習課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民自ら生涯を通じて学び、活躍できる環境が整っている	現状	市民が主体的に学び、その成果を活かすことのできる学習環境が整備されていない	
			課題	仮説に基づく戦略
全ての市民にとって魅力ある図書館を整える必要がある。	社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり	中	1	
生涯学習の推進体制を整え、生涯学習講座の魅力、生涯学習への関心を高め、学習成果の活用が図られるよう促す必要がある。	豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりの推進	中	2	
生涯学習施設を有効に活用する必要がある。	学びを支える環境づくり	低	3	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	終期目標値 (年度) 達成率	単位
(7) 生涯学習センター・地域センター等における主催講座受講者数	71,693 (R1)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	71,700 73,300 74,900	人
(1) 図書館来館者数	557,780 (H30)		575,000 584,000 593,000	
(ウ)	()			

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額	人件費(千円)	
		一般財源				
	R3 年度	694,640				
	R2 年度	640,042				
		668,419				
		566,406				

6 戦略を構成する事務事業

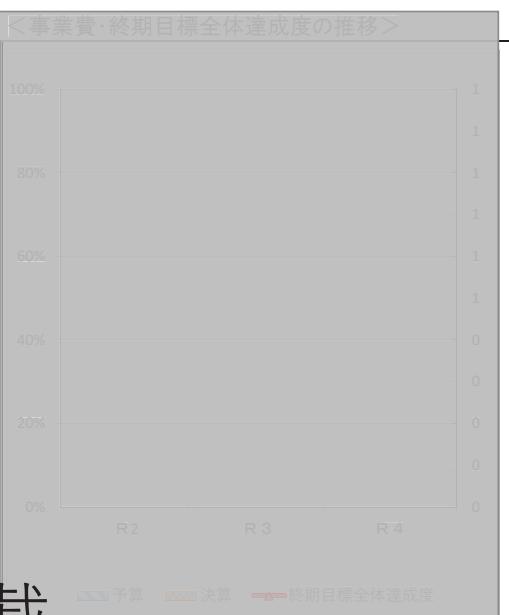
(単位:千円)

7 成果指標の分析



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	



決算時記載

9 総合評価

◎ 評議會		◎ 理由
總合評估	◎ 未達標準 ◎ 部分達標準 ◎ 基本達標準 ◎ 達標準	<理由>

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	・
○	・
○	・
○	・

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	市全体が「学びのキャンパス」となる 環境づくり	生涯を通じて地域で学び、活躍できる 環境の整備

事業の概要

1 社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり（391,388 千円(前年度 345,779 千円)）

(1)図書館の管理運営（391,388 千円(前年度 345,779 千円)）

貸出返却やレファレンス（調査相談）のサービスに加え、地域の情報拠点として市民の課題解決に必要な幅広い資料を収集・整理し、ICTを活用したサービスを提供するとともに、市民と市民、市民と情報など様々なつながりを深める場としての機能の充実を図る。

①図書館の指定管理者による管理運営

【対象】市立図書館全7館（中央図書館、サンスクエア児童青少年図書館、黒瀬図書館、福富図書館、豊栄図書館、河内こども図書館、安芸津図書館）

②ICT技術の活用による環境整備（55,021 千円(前年度 44,000 千円)）

ア ICタグ貼付及びエンコード作業（R2 年度～R3 年度）

市立図書館の保有する資料約80万点へのICタグ貼付及びエンコード作業

【新】イ ICシステムの導入

自動貸出機・自動返却機等の設置

図書システムのカスタマイズ

（ICシステム連携設定）



自動貸出機

③利用者層・利用形態に応じた利用空間の住み分けによる環境整備（1,414 千円(前年度 0 円)）

【新】ア 中央図書館における館内ゾーニングの見直し

乳幼児ルーム（授乳室）設置、カフェコーナー拡充、10代20代向けエリア設置



乳幼児ルームの整備



屋外にテラス席を設置



吹き抜けフロアを10・20代向けエリアへ

④施設の改修等（35,006 千円(前年度 1,000 千円)）

ア 中央図書館エレベーター更新工事

イ 中央図書館照明設備改修工事設計委託

事業の概要

2 豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりの推進（97,140千円(前年度75,352千円)）

(1)生涯学習活動の推進（97,140千円(前年度75,352千円)）

多様で変化する学習ニーズや少子高齢化の進展など、現代的・社会的課題に対応するための学習機会を提供する。

①人権に関する学習機会の充実

ア 人権講座の開催

人権尊重の理念が日常生活に根付くように多様な学習機会の充実を図る。

【対象】市民

【場所】生涯学習センター及び地域センター等

【内容】人権尊重の意識の高揚を醸成する講座を開催

【回数】40回

イ 人権教育研修会の開催等

人権教育研修会の開催や県主催の人権教育指導者研修会への参加を促し、指導者の養成及びその資質の向上を図る。

【対象】地域センター職員等

【場所】市役所、県庁等

【内容】研修会の提供等、人権講座の学習プログラムの企画・立案

【回数】4回

②家庭教育支援講座の開催

ア ブックデビュー推進講座等の開催

乳児への言葉がけの大切さを伝え、「ことば」の獲得を支援する。

【対象】保護者及び妊産婦・配偶者、ブックデビューを支援したい人

【場所】地域すぐそくサポート等

【内容】絵本や図書館を手がかりとして、様々な子育て支援事業と連携しながら講座を開催

【回数】54回

イ 「親の力」を学び合う学習プログラム等の開催

あらゆる人がそれぞれの立場から「子育て力」を身につける。

【対象】市民

【場所】市内公共施設等

【内容】「自ら気づき学びことができる力」を高め、「話のきっかけ」、「対話のツール」として開発された参加体験型学習プログラムを開催

【回数】52回

③生涯学習講座等の開催

ア 東広島熟年マイスター教育講座の開催

人生100年時代を見据え、高齢者を対象に様々な社会問題を体系的に学ぶ講座。

【対象】市民（65歳以上）

【場所】東広島芸術文化ホールくらら等

【内容】認知症予防、特殊詐欺対策等の現代的課題や本市の福祉制度等、高齢者の特性を学び、備える講座をテーマごとに開催

【回数】36回（6コース 各コース6回連続）

事業の概要

イ 広島版「学びからはじまる地域づくりプロジェクト」講座の開催

地域住民が主体的に地域づくりに参画できるプロジェクトにより企画した講座を開催する。

【対象】市民

【場所】生涯学習センター及び地域センター等

【内容】地域の多様な主体と連携・協働した講座

【回数】45回

ウ 主催講座の開催

生涯学習（支援）センター及び地域センター等が地域の課題に応じた講座等を開催する。

【対象】市民

【場所】生涯学習センター及び地域センター等

【内容】地域が抱える課題を知り、解決するための学習機会の充実となる講座

【回数】5,700回

エ 出前講座の実施

市民団体の求めに応じて、市または協力機関（公的機関・団体）の職員等が講師となり地域へ出向いて講座を実施する。

【対象】市内に在住、在勤、在学している10人以上の団体

【場所】市内公共施設ほか

【内容】市や協力機関（公的機関、団体）より提供する学習メニューから関心のある内容を申し込む

【回数】230回



「親の力」を学び合う学習プログラム



東広島熟年マイスター教育講座



ボランティア交流会の様子

④生涯学習推進体制の充実と資質の向上（62,623千円（前年度42,514千円））

ア 生涯学習推進員等の配置

地域の学びのネットワークを支援する体制を構築する。

生涯学習（支援）センター長（志和・黒瀬・福富・豊栄・河内・安芸津）（6人）、
三ツ城コミュニティハウス副所長（1人）、生涯学習推進員（12人）、
社会教育指導員（2人）、生涯学習相談員（1人）等の配置

イ 社会教育関係等研修会の開催等

講座の企画等に必要な知識・技能等に関する実践的な研修の開催や県主催の研修会への参加を促し、専門性の向上と関係職員の連携を図る。

【対象】地域センター職員等

事業の概要

【場所】市役所、県立生涯学習センター等

【内容】職務の専門性を発揮できる資質・技能の向上（人材育成）とともに、関係職員間のネットワークを構築

【回数】14回

⑤学習成果を発表する機会の充実と主体的な学びの促進

ア 生涯学習フェスティバルの開催

生涯学習活動の成果・発表や市民相互の交流の場を全市的な規模で提供することにより、主体的に学習する意欲を高め、学習活動への参加を促進する。

イ 学習メニュー ブックの発行

講座、イベントなど様々な生涯学習情報を集め、広く市民へ提供する。（年1回発行）

ウ 生涯学習パスポートの活用

（ア）【大人版】生涯学習パスポート

学習者個人が学習目標を立て学習記録をつけることで、学んだ成果を実社会で活かす。

（イ）【子ども版】まなぶちゃんノート（小学校）、ジュニアパスポート（中学校）

学校外の学習活動、ボランティア、地域活動等を記録することで、児童・生徒の学校外での様々な体験活動を促進し、その経験を学校内での学びに活かす。



生涯学習フェスティバルの様子

⑥社会教育関係機関等への負担・補助

ア 社会教育関係機関への負担金

広島県公民館連合会等と連携し、職員の研鑽を積むため、必要経費を負担する。

イ ボランティア活動への支援

新型コロナウイルス感染症の感染防止に資するボランティア活動へ補助金を交付する。

3 学びを支える環境づくり（206,112千円（前年度247,288千円））

（1）生涯学習施設の管理運営（206,112千円（前年度247,288千円））

①施設の管理運営

市民文化センター（指定管理）、志和生涯学習センター、黒瀬生涯学習センター、豊栄生涯学習センター、安芸津生涯学習センター、三ツ城コミュニティハウス、西志和コミュニティハウス、創作村、視聴覚ライブラリー、天文台広場の管理運営を行う。

②施設の改修等（45,100千円（前年度88,000千円））

事業の概要

- ア 市民文化センター空調設備更新工事
- イ 市民文化センター舞台機構更新工事
- ウ 志和生涯学習センター解体工事設計委託



市民文化センター
(サンスクエア東広島 2階・3階の一部)

事業の概要

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承	主管部局・所属	生涯学習部	文化課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化	現状	芸術文化関連施設及び文化財関連イベント等の利用者が低迷している。	
			寄与度	戦略No.
文化芸術の魅力に触れる機会の提供を増やす必要がある。	芸術文化活動の活性化と創造	中	1	
文化財に対する保護意識の高揚と公開の環境を整える必要がある。	文化財の保護と活用	中	2	

4 成果指標

	成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位	
			R2	R3	R4			
(7)	芸術文化ホールの入館者数	300,759 (R1)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	335,000	335,000	335,000	335,000 (R5)	人
(1)	美術館入館者数	3,849 (R1)		15,000	35,000	35,000	35,000 (R4)	
(4)	文化財公開施設等への入場者数	11,800 (R1)		11,000	11,800	12,000	12,200 (R5)	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)	
		一般財源		一般財源			
		630,376	570,384				
R2 年度		480,804					
		423,443					

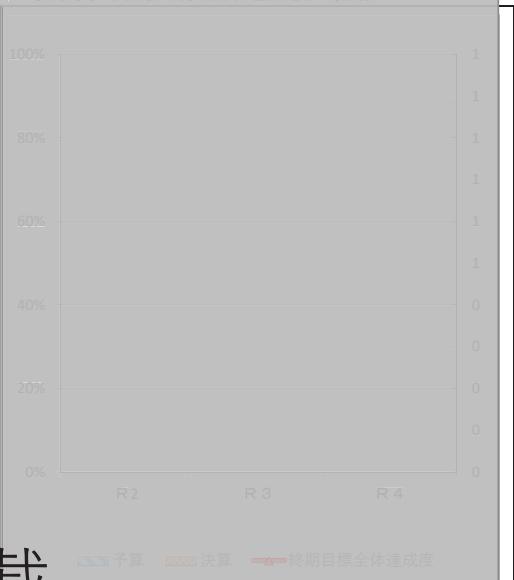
6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

7 成果指標の分析



＜事業費・終期目標全体達成度の推移＞



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
課題性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

總合評價

総合評価		＜理由＞
良	○	○

10 今後の課題及び取組方針

問題

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承

事業の概要

1 芸術文化活動の活性化と創造 (493,107 千円(前年度 423,883 千円))

(1)芸術文化の振興 (243,427 千円(前年度 242,298 千円))

①芸術文化ホールの管理運営 (232,292 千円(前年度 231,515 千円))

芸術文化活動の中核施設として、東広島芸術文化ホールくららの管理運営を指定管理者により行う。



けんみん文化祭地区フェスティバル

ア 芸術文化活動の支援

市民が主体的に行う文化事業の後援を行うとともに、東広島市文化連盟等活動団体に助成を行う。

イ 芸術文化活動の推進

地域で活動する文化団体等の育成、市民の交流を図るためのワークショップや、けんみん文化祭を開催する。

③東広島市美術展の開催 (4,102 千円(前年度 3,159 千円))

造形芸術活動の発表の場として、市民から公募した作品を展示する東広島市美術展を開催する。

(2)美術館の管理運営 (249,680 千円(前年度 181,585 千円))

【拡】①特別企画展の開催 (69,937 千円(前年度 29,990 千円))

ア びじゅチューン展(仮称)

世界の「びじゅつ」を歌とアニメで紹介するテレビ番組をテーマとした企画展を開催し、東広島市立美術館の所蔵作品や東広島市の見どころ、観光スポットなどを絵やアニメーションにより制作された作品を展示する。

会期：令和3年4月9日～6月13日（予定）

イ 今井政之個展(仮称)

平成30年に文化勲章を受章した今井政之氏の回顧展を開催し、作家の作陶人生を紹介するとともに、関連作家の作品なども併せて展示する。

会期：令和3年10月上旬～12月上旬（予定）

ウ 映像コンテンツ企画展(仮称)

デジタルコンテンツを活用した体験型展覧会を実施する。

会期：令和4年2月上旬～3月下旬（予定）

②旧美術館の解体 (50,000 千円(前年度 1,800 千円))

旧美術館の解体・撤去工事を行う。



東広島市立美術館

事業の概要

- ③指定管理による美術館の管理運営（105,000 千円（前年度 83,500 千円）
指定管理者により、美術館の維持管理及び展覧会の運営を行う。
- ④文化振興基金への積立（10,023 千円（前年度 10,085 千円）
文化振興基金へ元金及び利子を積み立てる。
- ⑤美術品購入（10,000 千円（前年度 46,300 千円）
美術館で所蔵する作品を購入する。
- ⑥所蔵作品の管理ほか（4,720 千円（前年度 9,910 千円））

2 文化財の保護と活用（137,269 千円（前年度 56,921 千円））

- (1) 文化財の保存活用（43,144 千円（前年度 25,069 千円）
 - ①指定文化財等の管理活用（39,089 千円（前年度 21,096 千円）
指定された文化財や貴重な文化遺産の保護・保存のために、それらの適切な維持管理、公開活用を図る。また、指定文化財所有者の行う保存修理等に対して助成を行う。
 - ア 伝統的建造物群保存地区制度活用の機運醸成
制度活用に向けた機運醸成のためのシンポジウム等の開催
 - イ オオサンショウウオの宿管理運営
オオサンショウウオ一時保護施設の管理運営



オオサンショウウオの宿

【新】ウ 歴史民俗資料館デジタルコンテンツの作成（うち 2,833 千円）

民具の使い方や 360 度動画等の制作

【新】エ 文化財関連施設等集約予定施設の維持管理（うち 1,224 千円）

既存の建物・土地の維持管理

オ 指定文化財保存修理等の補助

補助対象：新宮神社本殿（西条町寺家）ほか 2 件

カ 指定文化財等の管理活用

指定文化財等の維持管理及び公開活用

②文化財の調査と保護（4,055 千円（前年度 3,973 千円））

市内に所在する各種の文化財について悉皆調査を行うとともに、重要なものについては、指定・登録等の保護措置をとる。

事業の概要

(2)文化財施設等の整備（68,346千円(前年度3,312千円)）

歴史民俗資料館及び文化財収蔵庫施設の集約に着手するとともに、文化財施設の修繕等を行う。

①文化財施設等の新設・修繕（51,063千円(前年度3,312千円)）

【新】ア（仮称）新文化財センターの整備（うち48,854千円）

廃校後的小学校施設を活用して、市内に分散している文化財施設の集約を行う。

（ア）施設改修設計

久芳小学校跡施設を文化財集約施設に改修するための調査・設計

（イ）久芳小学校跡地の用地取得

校舎敷地に係る民有地の一部取得

イ 文化財説明板、案内標識等の新設、修繕

②史跡鏡山城跡の災害復旧（17,283千円(前年度0千円)）

平成30年7月豪雨で被災した史跡鏡山城跡の復旧工事を行う。



史跡鏡山城跡被災状況遠景

【新】(3)東広島市史の編さん（3,120千円(前年度0千円)）

①東広島市史の編さん（3,120千円(前年度0千円)）

東広島市の歴史を明らかにするとともに、市民の郷土に対する理解と関心を深め、今後の魅力あるまちづくりに資するため、東広島市史の編さんに着手する。

【事業予定期間】 令和3年度～令和12年度

【編さん想定市史】 近現代編・近世編・中世編・原始古代編・考古編・民俗編等

【令和3年度の取組】

- ・市史編さん基本方針の策定
- ・市史編さん基本計画の策定
- ・事業推進体制の検討
- ・有識者からの意見聴取
- ・資料収集等

(4)埋蔵文化財の調査（9,386千円(前年度15,999千円)）

埋蔵文化財の事前相談・協議、現地踏査・試掘調査及び指示・指導を行い、開発と保存の調整を行う。また、必要に応じて、記録保存のための発掘調査を行い、出土した遺物及び図面・写真等を適切に収蔵・管理する。

事業の概要

(5)出土文化財の公開活用 (13,273千円(前年度12,541千円))

発掘調査によって出土した遺物や図面・写真等を保管するとともに、常設・企画展示、講座・報告会等を開催するなどして公開活用を図る。

史跡安芸国分寺跡出土品の国重要文化財指定に向けた作業を行う。



発掘調査の様子



「展示室」見学の様子

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（予算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成	主管部局・所属	生涯学習部 スポーツ振興課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	いつでも・どこでも・誰でも・地域でスポーツができる仕組みがあるまちになっています。	現状	スポーツに興味がある人は多いが、スポーツを習慣としている人の割合が低い。	
			課題	仮説に基づく戦略
市民ニーズに合ったスポーツ施設の整備が必要である。	スポーツ施設等の整備運営		中	1
活動機会の提供によるスポーツ活動の習慣化及び指導者の育成が必要である。	スポーツ活動の普及振興		中	2
スポーツ団体及び個人への活動支援及び競技スポーツの振興が必要である。	スポーツの活動支援の充実		低	3

4 成果指標

	成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位	
			R2	R3	R4			
(7)	週に1日以上スポーツする人の割合	35.6 (H29)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	40.4	42.0	43.6	50 (R8)	%
(1)	スポーツ施設利用者数	294,828 (H29)		300,000	301,500	303,000	310,000 (R8)	
(ウ)		()					()	

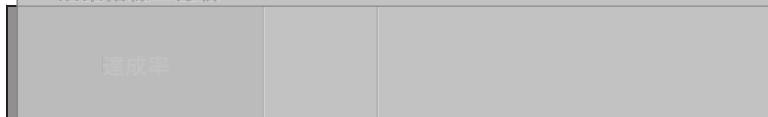
5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
	R3 年度	334,013				
	R2 年度	287,658				
		352,731				
		260,087				

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

7 成果指標の分析



事業費・終期目標全体達成度の推移

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
属性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

◎ 総合評価

総合評価	□□□□□ □□□□□ □□□□□	<理由>
------	-------------------------	------

決算時記載

10 今後の課題及び取組方針

課題

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	市全体が「学びのキャンパス」となる 環境づくり	生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の 形成

事業の概要

1 スポーツ施設等の整備運営 (247,866 千円(前年度 282,936 千円))

市民のスポーツ活動の充実を図るため、社会体育施設の維持管理を行う。

(1)スポーツ施設の管理運営 (181,822 千円(前年度 182,367 千円))

①指定管理者による管理運営 (うち 158,058 千円)

【対象】 指定管理施設：体育館（1）、プール（1）、グラウンド（8）、コミュニティ
スポーツ広場（9）、パークゴルフ場（2）、B & G海洋センター（2）

②福富多目的グラウンドへの仮設トイレの設置(うち 1,614 千円)



河内スポーツアリーナ研修棟



福富多目的グラウンド

(2)スポーツ施設の整備 (66,044 千円(前年度 100,569 千円))

①施設の整備 (うち 26,500 千円)

- ア 三永小学校グラウンドへの防球ネット設置
- イ 志和市民グラウンドへの防球フェンス設置
- ウ 福富多目的グラウンドトイレ整備工事設計業務委託

②施設の解体・撤去 (うち 27,000 千円)

- ア 区民プールの解体
 - (ア)吉原区民プールの解体
- イ 設備の撤去
 - (ア)志和市民グラウンドの照明の撤去
 - (イ)志和市民グラウンドの屋内練習場の撤去



照明灯（志和市民グラウンド）



屋内練習場（志和市民グラウンド）

事業の概要

2 スポーツ活動の普及振興 (38,607 千円(前年度 36,856 千円))

(1)スポーツ活動の活性化 (38,607 千円(前年度 36,856 千円))

①スポーツ活動の充実

ア スポーツ教室・イベント等の開催

(ア)スポーツ振興業務の委託

体育・スポーツなどの振興に関する情報収集・調査研究並びに情報提供、生きがい健康体育大学や各種スポーツ教室等の開催、スポーツに関する備品・用具の貸出業務等を教育文化振興事業団に委託する。

(イ)各種スポーツイベントの開催

スポーツの振興及び競技力の向上を図るとともに、市民の健康保持や地域の活性化を促進するため、各種スポーツイベントを開催する。

a 市民スポーツ大会(陸上の部・球技の部)

(a)陸上の部

【開催日】6月6日（日）

【場 所】東広島運動公園陸上競技場

(令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(b)球技の部

【開催日】9月26日（日）

【場 所】東広島運動公園、河内スポーツアリーナ（予定）ほか

※オープン競技としてペタンクを追加

(令和2年度 参加人数：600人（ソフトボールのみ）)

b 東ひろしま新春駅伝競走大会の開催

【開催日】1月8日（土）

【場 所】東広島運動公園陸上競技場発着近隣周回コース

(令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)



東ひろしま新春駅伝競走大会（令和元年度）

c ひろしま県央競歩大会の開催

【開催日】11月28日（日）

【場 所】東広島運動公園陸上競技場

(令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

d トップアスリートとの交流(広島ドラゴンフライズの合宿受入)

(a)小学校訪問

【開催日】9月

【場 所】市内小学校 4校程度

事業の概要

(b)バスケットボールクリニック

【開催日】9月

【場 所】東広島運動公園体育館

【対象者】市内小中学生



市長表敬訪問



小学校訪問

イ 地域におけるスポーツ活動と高齢者の運動習慣づくり

(ア)地域で活躍する人材の育成

a スポーツ推進委員

各地域におけるスポーツの普及、実技指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、資質向上に向けた研修会を開催する。(84人)

b コミュニティ健康運動パートナー

地域住民の健康を地域で支える仕組みづくりに向けてコミュニティ健康運動パートナーを育成するとともに、健康寿命の延伸に向けて高齢者が無理なく取り組むことができるスポーツの普及を支援する。(令和元年度 55人)

3 スポーツの活動支援の充実 (47,540千円(前年度32,939千円))

(1)スポーツの活動支援の充実 (10,583千円(前年度11,070千円))

①スポーツ団体の育成支援 (うち6,570千円)

ア 市内スポーツ団体に対する支援

(ア)東広島市体育協会への補助金の交付

(イ)東広島市スポーツ少年団への補助金の交付

イ 各地域におけるシニアスポーツの普及支援

(ア)太極拳・ゲートボールの普及促進

各地域において、高齢者等を対象とし実施される太極拳協会及びゲートボール協会の普及促進活動に補助金を交付する。

②競技スポーツの振興 (うち4,000千円)

ア 全国大会出場者、全国大会開催団体に対する支援

(ア)出場奨励金

競技力の向上を図るため、全国大会又は国際大会に出場する選手等に奨励金を交付する。

a 全国大会

(a)個人 10,000円

(b)団体 50,000円/5人まで

※6人目以降 10,000円×人数 (上限150,000円)

b 国際大会

事業の概要

(a)個人 20,000 円

(b)団体 100,000 円/5 人まで

※6 人目以降 20,000 円×人数（上限 300,000 円）

(イ)開催助成金

本市において全国大会又は国際大会を開催する団体に助成金を交付する。

a 全国大会 150,000 円

b 国際大会 200,000 円

(2)オリンピック事前合宿等の推進（36,957 千円（前年度 21,869 千円））

①東京 2020 オリンピック関連（33,630 千円（前年度 18,542 千円））

ア オリンピックメキシコ選手団事前合宿の受入（ゴルフ、レスリング、卓球）

東京 2020 オリンピックに出場するメキシコ選手団の事前合宿を支援するとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた新しい生活様式の中で市民との交流を図る。

【合宿期間】：各競技とも令和 3 年 7 月で調整中



メキシコ選手団（ゴルフ）との交流試合



歓迎レセプション

イ オリンピック聖火リレーの実施

オリンピックへの機運の醸成等に向け、聖火リレーを本市で実施する。

【開催日】5 月 17 日（月）

【コース】西条駅南口交差点～御薗宇ランプ交差点

②東京 2020 パラリンピック関連（3,327 千円（前年度 3,327 千円））

ア パラリンピック聖火採火式の開催

パラリンピックへの機運の醸成等に向け、「東京 2020 パラリンピック聖火」の元となる「東広島市の火」の採火式を開催する。

【開催日】8 月 14 日（土）（調整中）

【場 所】広島県障害者スポーツセンター（調整中）

令和3年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

3 人づくり

内容

<学校教育部>

(1)小学校の管理（804,295千円(前年度 657,815千円))【10款2項1目】

【新】①河内並び志和地区における学校統合に係る経費等（うち 5,299 千円）

令和4年4月の統合に向けて、校章校歌の作成及び閉校実行委員会への補助金交付など、開校に必要な準備を行うため。

②学校運営に必要な物品購入に係る経費

ア 消耗品、備品の購入

(ア)新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等購入に係る経費（うち 43,031 千円）

【新】(イ)小中一貫教育校開校に伴う備品の購入（うち 3,716 千円）

令和4年4月志和小中一貫教育校開校等に伴い、新たに備品が必要であるため。

③学校運営に係る経費

ア 燃料費、電気代、上下水道代、電話料金等

イ 廃棄物収集運搬業務の外部委託

【新】(ア)小中一貫教育校開校に伴う廃棄物収集運搬（うち 2,405 千円）

令和4年4月志和小中一貫教育校及び河内小中一貫教育校開校等に伴う廃棄物収集運搬を行うため。

ウ 機械器具(AED、印刷機)の賃貸借料等

④備品の修繕、点検調整等に係る経費

【新】ア 小中一貫教育校開校に伴う備品等運搬（うち 14,668 千円）

令和4年4月志和小中一貫教育校及び河内小中一貫教育校開校等に伴う備品等運搬を行うため。

⑤学校施設の修繕等に係る経費

⑥学校施設の法定点検、維持管理等に係る経費

⑦仮設校舎リース等に係る経費

ア 既設の仮設校舎リース料

【新】イ 平岩小学校仮設校舎建築費(リース)（うち 102,600 千円）

児童数の増に伴う教室不足に対応するため。

(2)中学校の管理（377,856千円(前年度 268,980千円))【10款3項1目】

①学校運営に必要な物品購入に係る経費

ア 消耗品、備品の購入

(ア)新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等購入に係る経費（うち 20,318 千円）

【新】(イ)小中一貫教育校開校に伴う備品の購入（うち 3,479 千円）

令和4年4月志和小中一貫教育校開校に伴い、新たに備品が必要であるため。

②学校運営に係る経費

ア 燃料費、電気代、上下水道代、電話料金等

イ 廃棄物収集運搬業務の外部委託

内容

ウ 機械器具(AED、印刷機)の賃貸借料等

③備品の修繕、点検調整等に係る経費

④学校施設の修繕等に係る経費

⑤学校施設の法定点検、維持管理等に係る経費

⑥仮設校舎リース等に係る経費

【新】ア 磐松中学校仮設校舎建築費(リース)（うち 71,800 千円）

生徒数の増に伴う教室不足に対応するため。

(3)幼稚園の管理 (12,123 千円(前年度 14,232 千円))【10款4項1目】

①幼稚園運営に必要な物品購入に係る経費

ア 消耗品、備品の購入

(ア)新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等購入に係る経費(うち 677 千円)

②幼稚園運営に係る経費

ア 燃料費、電気代、上下水道代、電話料金等

イ 廃棄物収集運搬業務の外部委託

ウ 機械器具(AED)の賃貸借料等

③備品の修繕、点検調整等に係る経費

④幼稚園施設の修繕等に係る経費

⑤幼稚園施設の法定点検、維持管理等に係る経費

(4)児童青少年センターの管理 (20,441 千円(前年度 20,373 千円))【10款5項1目】

①人件費等にかかる経費

ア 児童青少年センター

センター所長 1 人、活動推進員 1 人

イ 第2児童青少年センター

センター所長 (アと兼務)、活動推進員 2 人

②施設維持管理費

ア 委託料、使用料及び賃借料等

イ 事務費

(5)学校給食の管理 (19,184 千円(前年度 33,824 千円))【10款6項3目】

①給食従事者の健康診断及び学校給食センター内衛生管理検査の実施

【検査内容】定期健康診断 (7~8 月)、腸内細菌検査 (毎月 2 回)、

ノロウイルス検査 (10~3 月に月 1 回)、衛生管理検査 (年 2 回)

【健康診断対象給食従事者人数】90 名

②給食従事者への研修の実施

栄養教諭・学校栄養職員研修会 (6 月、1 月)、学校給食業務研修会 (8 月)

③各小中学校及び幼稚園配膳室の物品等の管理

④学校給食費の公会計に係る諸経費(うち 7,210 千円)

ア 学校給食費決定通知書等送付

イ 学校給食費決定通知書印刷業務

内容

ウ 学校給食費管理システム保守管理

令和3年度から学校給食費が公会計となるため、小・中学校及び幼稚園の児童・生徒・園児、教職員の約17,500人分の給食費決定通知書の印刷や送付、システムの保守管理等の諸経費が必要となるため。

(6)学校給食センターの運営(1,854,156千円(前年度951,327千円))【10款6項3目】

①東広島学校給食センター運営

ア 食器老朽化に伴う更新(うち19,536千円)

耐用年数5~6年を大幅に超過した12年以上の使用により、表面のコーティングが剥がれ、汚れが落ちにくいなど衛生上の問題や、破損枚数も年々増加していることから、早期の購入が必要であるため。

②西条学校給食センター運営

ア 真空冷却機の老朽化に伴う更新(うち18,700千円)

導入後19年経過しているため故障が頻発しており、保守部品の提供も終了したことから、機器の更新が必要であるため。

③東広島北部学校給食センター運営

④安芸津学校給食センター運営

※令和3年度からの学校給食費公会計化に伴い、賄材料費を一般会計に計上している。

【各学校給食センターの賄材料費内訳】

(千円)

東広島	西条	東広島北部	安芸津	合計
492,601	96,451	240,984	41,762	871,798

<生涯学習部>

(1)成人式の開催(4,619千円(前年度4,611千円))【10款5項1目】

新成人の前途を祝するとともに、成人として自らが社会を構成する一員であるという自覚を促すことにより、青少年の健全育成を図るため、「成人を祝う会」を開催する。

【場所】 運動公園体育館

【開催日】 令和4年1月10日(予定)

【対象者】 平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれの人(約2千人)

【実行委員】市内中学校卒業生各1人、計17人で構成。開催準備及び当日の役割分担等を行う。



令和元年度東広島市成人を祝う会 オープニング

誓いの言葉

内容

(2)学校体育施設の市民開放（17,116千円(前年度17,118千円)）【10款6項2目】

市内公立の小学校及び中学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲内で、スポーツ・レクリエーション活動を行う市内在住者で構成された団体に開放する。



学校体育施設利用の様子（屋内運動場）

